

沖縄県栽培漁業センターの概要

1. 沿革

- (1) 昭和55年～58年度 用地取得及び基本施設整備事業
- (2) 昭和58年4月 沖縄県水産試験場の支場として設置される（沖縄県行政組織規則第208条。昭和58年3月31日改正。組織の名称：沖縄県水産試験場栽培漁業センター支場）。
- (3) 昭和58年10月25日 開所式
- (4) 昭和59年度・昭和61年度・昭和62年度 増強施設整備事業（水槽上屋・加温施設・濾過施設等の整備）
- (5) 昭和63年4月 水産試験場支場の位置づけから独立。組織の名称：沖縄県栽培漁業センターとなる（沖縄県行政組織規則第208条の2。昭和63年3月31日改正）。

2. 組織

沖縄県農林水産部 ―― 水産振興課 ―― 栽培漁業センター

（ 上記組織は昭和63年4月より、昭和62年度は下記
農林水産部 ―― 漁政課 ―― 水産試験場 ―― 栽培漁業センター支場 ）

3. 庁舎の所在地

住 所：〒905-02 沖縄県国頭郡本部町字大浜 853-1

電話番号：(0980)-47-5411 FAX番号：(0980)-47-5412

最寄駅：本部半島線（名護バスターミナル発）大小堀駅下車徒歩3分

4. 運営方式

県 営

5. 職員及び主な担当業務（昭和62年度～平成元年度）

① 昭和62年度

所 長 伊 佐 次 郎（総括）

主 幹 友 利 昭之助（種苗生産試験研究総括）

主任研究員 島 袋 新 功（シラヒゲウニ、タイワンガザミ種苗生産・ワムシ、クロレラ培養）

主任研究員 藤 本 裕（ミナミクロダイ、ハマフエフキ種苗生産・中間育成）

研究員 金 城 武 光（親魚育成・ミナミクロダイ、ハマフエフキ種苗生産・中間育成）

研究員 山本隆司（ワムシ、クロレラ培養・シラヒゲウニ、タイワンガザミ種
苗生産）

研究員 玉城 信（シラヒゲウニ、タイワンガザミ種苗生産・ワムシ、クロレラ培養）

主 事 西表道枝（庶務・会計）

* 転入：伊佐次郎（農林水産部・参事兼務）、山本隆司（水産振興課）

転出：前田訓次（水産試験場・八重山支場）

② 昭和63年度

所 長 伊佐次郎（総括）

次 長 嘉数 清（所長補佐・種苗生産試験研究総括）

主任研究員 村越正慶（貝類種苗生産・魚類親魚養成）

主任研究員 島袋新功（シラヒゲウニ・タイワンガザミ種苗生産）

主任研究員 藤本 裕（魚類種苗生産）

研究員 山本隆司（ワムシ、クロレラ培養・魚類、貝類種苗生産）

研究員 玉城 信（シラヒゲウニ、タイワンガザミ種苗生産・ワムシ、クロレラ培養）

主 事 西表道枝（庶務・会計）

* 転入：嘉数清（水産試験場）、村越正慶（水産試験場・八重山支場）

転出：友利昭之助・金城武光（水産試験場）

③ 平成元年度

所 長 伊佐次郎（総括）

次 長 嘉数 清（所長補佐・種苗生産試験研究総括・飼付け型栽培技術開発）

主任研究員 村越正慶（貝類種苗生産・魚類親魚養成）

主任研究員 藤本 裕（魚類種苗生産・飼付け型栽培技術開発・クロレラ、ワムシ
大量培養）

主任研究員 渡辺利明（タイワンガザミ、シラヒゲウニ種苗生産・飼付け型栽培技
術開発・クロレラ、ワムシ大量培養）

研究員 山本隆司（クロレラ、ワムシ大量培養・クロレラ、ワムシ保存培養・
魚類、貝類種苗生産）

研究員 玉城 信（シラヒゲウニ・タイワンガザミ種苗生産・クロレラ、ワム
シ大量培養・クロレラ、ワムシ保存培養）

研究助手 加島浩司（魚類種苗生産・クロレラ、ワムシ大量培養）
（臨時任用職員）（5.1～9.30）

当山一博（貝類種苗生産・魚類親魚養成）
（10.2～3.31）

主 事 稲嶺邦枝（庶務・会計）

* 転入：渡辺利明（水産試験場）、稲嶺邦枝（県農業大学校）

転出：島袋新功（水産試験場）、西表道枝（北部農業改良普及所）

6. 種苗生産実績

- (1) 対象魚種：ハマフエフキ・オーストラリアキチヌ・マダイ・シマアジ・タイワンガザミ・タ
カセガイ・ヤコウガイ

(2) 魚種別、年次別種苗生産実績

魚種名	年次	昭和62年	昭和63年	平成元年	備考
ミナミクロダイ	15 418		0	—	上段：ミリ 下段：千尾
ハマフエフキ	20 128		23 83	22 153	—：実施せず +：少数生産 0：生産出来ず
オーストラリアキチヌ	—		0	22 15	
マダイ	—		24 23	20 813	
シマアジ	—		25 4	70 11	
タイワンガザミ	3 353		3 397	3~5 670	
シラヒゲウニ	0		+	1~20 3	
タカセガイ	5 30		5 358	2~3 1,050	
チョウセンサザエ	—		2~8 100	—	
ヤコウガイ	—		—	1~3 380	

(3) 種苗販売実績（上段：千尾、下段：千円）

昭和62年度		昭和63年度		平成元年度	
ミナミクロダイ	210	ハマフエフキ	15.5	オーストラリアキチヌ	15.0
3円/尾	630	7円/尾	108.5	3円/尾	45.0
		ハマフエフキ	0.8	マダイ	205.5
		35円/尾	28.0	3円/尾	615.0
				マダイ	170.0
				5円/尾	850.0
				マダイ	10.0
				7円/尾	70.0
				ハマフエフキ	7.0
				7円/尾	49.0
合計金額	630		136.5		1,629.0

7. 予 算 (令 達)

単位：千円

区 分 \ 年 度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	備 考
運 営 費	1,693	1,692	2,174	
生 産 事 業 費	20,884	20,666	20,021	
栽培漁業技術開発事業費	4,266	7,629	17,778	(事業名) 放流技術開発 地域特産種増殖技術開発 飼付け型栽培技術開発 栽培推進・水産資源対策等
沿岸漁業整備事業等調査費	1,065	620	3,105	
地 域 パ イ ロ ッ ト	150	0	0	
施 設 整 備 事 業 費	380	0	0	
合 計	28,438	30,607	43,078	

8. 施設の概要

(1) 敷地等

	基本施設	増強施設	その他	備 考
敷地面積	11,067 m ²	0 m ²	0 m ²	県有地
使用海面	0 m ²	0 m ²	0 m ²	

(2) 建設事業費

	基本施設整備	増強施設整備	その他	備 考
敷地取得費	169,000千円	0千円	0千円	
施設整備費	456,225	150,000		
環境整備	0	0	0	
合 計	625,225	150,000	0	
(国庫補助金)	(243,750)	(75,000)		

(3) 建 物

施 設 名		規 模 ・ 構 造		面 積 (㎡)	備 考
管 理 棟	棟	鉄筋コンクリート	2階建	396	上屋貯水タンク
採 苗 棟	棟	〃	平屋建	252.4	
調 餌 工 作 棟	棟	〃	〃	194.8	
機 械 棟	棟	〃	〃	84	
ポ ン プ 棟	棟	〃	〃	36	
車 庫	庫	〃	〃	60	加温装置付水槽
飼 育 棟	棟	鉄骨スレート、コンクリート水槽		774	
濾 過 棟	棟	FRP 自動逆洗式		6.72	
貝類採苗施設(1)		軽量鉄骨ビニールハウス平屋建		225	42t/h・2基
貝類採苗施設(2)		〃		225	

(4) 池・水槽

① 容量総括表

飼 育 水 槽 (㎡)					餌料培養水槽 (㎡)			合 計
魚 類	甲殻類	貝 類	ウニ類	計	動物性	植物性	計	
400	258	82.5	104	844.5	450	670	1,320	2,164.5

② 用途別

用途区分	規格・使用容量 (㎡)			数量 (面)	備 考
親 魚 水 槽	RC	φ 4.0m×2.5m	30	5	魚 類
	FRP	5.0m×1.2m×0.85m	4	2	甲 殻 類
飼 育 水 槽	RC	4.0m×7.0m×2.0m	50	3	魚 類
	RC	φ7.0m×1.3m	50	2	〃
	RC	φ10.0m×1.3m	100	2	甲 殻 類
	RC	φ7.0m×1.3m	50	1	〃
	FRP	5.0m×1.0m×0.55m	2.75	30	貝 類
	RC	8.0m×1.0m×1.0m	8	3	ウ ニ 類
	FRP	5.0m×1.5m×0.9	6	4	〃
	FRP	5.0m×1.2m×0.85m	4	20	〃
餌料培養水槽	RC	4.0m×7.0m×2.0m	50	7	動 物 性
	RC	4.0m×2.0m×1.5m	10	5	〃
	RC	φ7.0m×1.3m	50	1	〃
	RC	10.0m×7.0m×2.0m	100	6	植 物 性
	FRP	φ10.0m×1.0m	70	1	〃

(5) 機械・設備

機 械 ・ 設 備	型 式 ・ 能 力	数 量	備 考
ポ ン プ	渦巻ポンプ 11KW 2.24m ³ /分 (全揚程20.8m)	3	
ブ ロ ワ ー	アンレットルーツブローワー ① 11KW, 6.0m ³ /分, 0.6kg/cm ² ② 3KW, 1.15m ³ /分, 0.6kg/cm ²	4 (3) (1)	
ジエツト・ウオッシャー	11KW, 60.0kg/cm ² , 0.6ℓ/分	1	
発 電 機	100KVA	1	
冷 凍 ・ 冷 蔵 庫	冷凍 7.5KW (-35℃) 26m ³ 冷蔵 2.2KW (-10℃) 19m ³	1 1	
ボ イ ラ ー	400,000Kcal/h, 7.5KWポンプ 2基	1	
自 動 給 餌 機	0.045KW, 6ℓ/tank	6	
自 動 底 掃 除 機	0.4KW, 最大排水量 50ℓ/分	1	

(6) その他の設備

名 称	規 格 等	数 量	備 考
作 業 船	FRP 1.10トン 50馬力	1	
”	FRP 0.30トン 9馬力	1	
フ ォ ー ク リ フ ト	2トン ディーゼル	1	
作 業 車	貨物車 2トン ディーゼル	1	
”	貨物乗用車 1,800cc ガソリン	1	
小 割 生 簀	5m×5m	8	
沈 澱 池	素堀り石積み 375m ²	1	
取 水 管	ヒューム管 φ1.0m×93m	1	
栈 橋	鉄筋コンクリート 斜路41m, 長さ49m	1	

(7) その他関連事項

① 海水揚水量

日間揚水量 5,000 m³/日 (盛期)

日間揚水量 9,700 m³/日 (最大能力) 但し、全基を24時間連続運転の場合の数値

② 契約電力

契約容量 72KW/H

契約種別 業務用

(8) 施設の配置図

次頁に示した。

沖縄県栽培漁業センター施設配置図

